

一般質問

3月議会の一般質問は、3月10日に行われました。

Q まちづくりについて

A 将来に繋がる適正な
施策・事業を進める



奥山幸洋 議員

質問 ①令和2年度の新年度予算編成の主な施策と展望について伺う。②下水道事業の安定的な運営について伺う。③明和町都市計画マスタープランにある町内交通機能を担う広域道路と幹線道路は、10年間でどこまで進んだのか伺う。④明和町狭あい道路整備4m未満道路の個人申請について伺う。

答え ①令和2年度予算の主な施策・事業については、先の施政方針の中で第5次総合計画の7つの大綱に沿って申し述べているが、その中で特に「スマート自治体」を目指すためRPA（ロボティック・プロセス・オートメーションの略：定型業務の自動化）などの導入の検討や道路防災事業として、大淀役場坂本線の役場前から笹笛川にかけて排水整備に取り組んでいく。②下水道事業の安定的な運営のため、令和5年4月に公営企業会計を導入する予定で事業の計画性・透明性の向上をめざす計画である。また令和2年には、下水道事業の経営戦略を立て中長期にわたり下水道事業が安定的に運営できるように図っていく。③町道明和中央線は、八木戸・根倉地内の路肩整備で約1,330m、町道坂本前野線佐田地内で約1,000m、本郷勝見第2線で約920mが完了。県道は、主要地方道伊勢松阪線根倉行部地内で約200m、県道大淀港斎明線大淀地内で約500mが完了。④狭あい道路整備事業は、自治会や地権者からの申請により、予算の範囲内で緊急箇所を事業化する予定。

その後どうなった？



シリーズ
第 88 回

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

- Q** 一般質問の主な内容
- A** **Q**に対する答弁の内容
- こうなった** 現在の取り組み状況や結果など



令和2年 3月定例議会より

Q 明和町狭あい道路整備4m未満道路の個人申請について伺う。
(奥山幸洋議員)

A 狭あい道路整備事業は、自治会や地権者からの申請により、予算の範囲内で緊急箇所を事業化する予定。

こうなった

令和2年度より、国土交通省の狭あい道路整備等促進事業補助を活用し、本年度は自治会からの要望箇所である1ヵ所約30mを実施完了した。今後も狭あい道路解消の為、事業の実施をしていく。